

2016年2月7日琵琶湖水鳥湿地センター 世界湿地の日2016in湖北
WWD2016in Kohoku 7th Feb.2016

ラムサール条約

第11・12回締約国会議の 決議文タイトル

Titles of Resolutions Ramsar COP11&12

京都大学理学部 金子祐希

Uki KANEKO Kyoto Univ.

Ramsar COP

- COPとは

締約国会議(Conference of the Parties)のこと
3年に一回開催される

- DRとは

会議における決議原稿(draft resolutions)のこと

COP11のタイトル訳は日本国際湿地保全連合の「第11回ラムサール条約締約国会議 (COP11) 決議案タイトル和訳」を参考にした
COP12は金子祐希仮和訳

COP11・12の決議タイトルについて

見ていきましょう！ 

Ramsar COP11



- Ramsar COP11とは
ラムサール条約第11回締約国会議のこと
2012年7月にルーマニアのブカレストで開催
137ヶ国代表が参加
日本からは外務省、環境省
、農林水産省の担当者が政府代表団として参加
テーマは“Wetlands: home and destination” (湿地：故郷、
そして目的地)

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15483>

会議の写真は以下参照

<http://www.iisd.ca/ramsar/cop11/>

RamsarCOP11の決議

- XI.1
- Institutional hosting of the Ramsar Secretariat
- ラムサール条約事務局の主催機関

事務局機能の強化を求める

IUCNが引き続きラムサール条約事務局をホストする
(IUCNとは国際自然保護連合)

- XI.2
- Financial and budgetary matters
- 財政および予算に関する事項

RamsarCOP11の決議

- XI.3
- Adjustments to the Strategic Plan 2009-2015 for the 2013-2015 triennium
- 2013-2015年の3年間に向けた2009-2015年戦略計画の調整
- XI.4
- The status of sites in the Ramsar List of Wetlands of International Importance
- 国際的に重要な湿地のリストに掲げられた湿地の状況

RamsarCOP11の決議

- XI.5
- Regional initiatives 2013-2015 in the framework of the Ramsar Convention
- ラムサール条約の枠組みにおける地域イニシアティブ (2013-2015年)

地域イニシアティブとは、地域が主導権を握って活動すること

- XI.6
- Partnerships and synergies with Multilateral Environmental Agreements and other institutions
- 多国間環境協定およびその他の組織とのパートナーシップと協働

多国間環境協定とは、グローバルまたは地域レベルでの生物種の消失と保全に関わる活動を行う協定

RamsarCOP11の決議

- XI.7
- Tourism and wetlands
- ツーリズムと湿地

ツーリズムのための政策及び計画に湿地の価値および
湿地のワイズユースの観点を盛り込むこと
関係者がより密接に連携していくこと

ツーリズムとは、持続可能性を考慮しながら行われる自然環境
などを目当てとした観光事業(→世界湿地の日2012参照)

ワイズユースとは、人類の利益のために湿地を持続的に利用す
ること



RamsarCOP11の決議

- XI.8
- Streamlining procedures for describing Ramsar Sites at the time of designation and subsequently
- 登録時やその後におけるラムサール条約湿地の記載手順の合理化

RamsarCOP11の決議

- XI.9
- An Integrated Framework for avoiding, mitigating, and compensating for wetland losses
- 湿地の喪失を回避、緩和、および代償するための統合的枠組み
- XI.10
- Wetlands and energy issues
- 湿地とエネルギー問題

RamsarCOP11の決議

- XI.11
- Principles for the planning and management of urban and peri-urban wetlands
- **都市部および都市周辺部の湿地の計画・管理のための原則**
- XI.12
- Wetlands and health: taking an ecosystem approach
- **湿地と健康：生態系アプローチの採用**

RamsarCOP11の決議

- XI.13
- An Integrated Framework for linking wetland conservation and wise use with poverty eradication
- 湿地の保全とワイズユースを貧困撲滅に結びつける統合的枠組み

- XI.14
- Climate change and wetlands: implications for the Ramsar Convention on Wetlands
- 気候変動と湿地：ラムサール条約との関係

RamsarCOP11の決議

- XI.15
- Agriculture-wetland interactions: rice paddy and pesticide usage
- 農業と湿地の相互作用：水田と農薬使用

適正な害虫管理を行っていくこと

そのために、水田の持つ機能を認識し、代替手法が湿地の生物多様性や生態系サービスに悪影響を及ぼさないことを十分に検討する

→日本からは雁を保護する会呉地正行さんが大活躍(※)

→野村祐美子さんの発表に関係

※詳しくは以下参照

龍谷大学里山学研究センター2012年報告書中第3回研究会(p47-62)

<http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/publication/2013/03/2012.html>

呉地正行「水田と生物多様性：ラムサール条約COP11（ルーマニア・ブカレスト）における展開」

RamsarCOP11の決議

- XI.16
- Ensuring efficient delivery of scientific and technical advice and support to the Convention
- 条約に対する科学技術的な助言および支援の効果的な実施の保証

科学技術面での助言及びガイダンスについて、その配信や受け手の内容理解等の調査をCOP12までに常設委員会等が行うこと
← XI.15の水田決議でもめたことを反映か

RamsarCOP11の決議

- XI.17
- Future implementation of scientific and technical aspects of the Convention for 2013-2015
- 2013-2015年における条約の科学技術面の将来的な実施

科学技術検討委員会の作業実施リストを承認したもの

RamsarCOP11の決議

- XI.18
- Adjustments to the modus operandi of the Scientific and Technical Review Panel (STRP) for the 2013-2015 triennium
- 2013-2015の3年間のための科学技術検討委員会 (STRP) の運用規則の調整

13名の専門家がSTRPとして任命された。

RamsarCOP11の決議

- XI.19
- Adjustments to the terms of Resolution VII.1 on the composition, roles, and responsibilities of the Standing Committee and regional categorization of countries under the Convention

ラムサール条約における常設委員会の構成、役割、および責任、ならびに地域区分に関するCOP7の決議1の用語の調整

RamsarCOP11の決議

- XI.20
- Promoting responsible investment by government and the private sector to ensure the maintenance of the benefits people and nature gain from wetlands
- 人間および自然が湿地から得る利益の維持を保証するための政府および民間セクターによる責任ある投資の促進

RamsarCOP11の決議

- XI.21
- Wetlands and sustainable development
- 湿地と持続可能な開発

RamsarCOP12

- RamsarCOP12は
ラムサール条約第12回締約国会議のこと
2015年10月にウルグアイのプンタデルエステで開催
168カ国の締約国のうち140カ国の代表が参加しました。また、国際機関、NGO等もオブザーバーとして多数参加し、我が国からは、政府代表団（外務省、農林水産省及び環境省）のほか、関係自治体、NGO等のオブザーバーが参加した。

テーマは“Wetlands for our Future.”（湿地を大切にしよう
私たちの未来のために） → **世界湿地の日2015、2016のテーマ**

<http://www.env.go.jp/press/101106.html>

大会の画像は以下

<http://www.iisd.ca/ramsar/cop12/>



RamsarCOP12の決議

- XII.1
- Financial and budgetary matters
- 財政および予算に関する事項

予算額を現状維持とした上で、2016-2018年の予算を承認した(環境省まとめ)。

- XII.2
- The Ramsar Strategic Plan 2016-2024
- 2016-2024年ラムサール戦略計画
- **戦略計画って何→ 琵琶湖ラムサール研究会第3部参照**
- 戦略計画では、「全ての湿地の保全及びワイズユース」を条約の使命とし、「湿地が保全され、賢明に利用され、再生され、湿地の恩恵が全ての人に認識され、価値付けられること」を長期目標とし、更に4つの目標と19の個別目標を掲げている(環境省まとめ)。

RamsarCOP12の決議

- XII.3
- Enhancing the languages of the Convention and its visibility and stature, and increasing synergies with other multilateral environmental agreements and other international institutions
- 条約の言語とその注目度および状況の向上と、多国間環境協定とその他の国際機関の協働の増加

RamsarCOP12の決議

- XII.4
- The responsibilities, roles and composition of the Standing Committee and regional categorization of countries under the Ramsar Convention
- 常設委員会とラムサール条約下における国家の地域区分の責任、役割、構成
- XII.5
- New framework for delivery of scientific and technical advice and guidance on the Convention
- 科学的専門的助言と条約における解釈の多様性に関する新たな枠組み

RamsarCOP12の決議

- XII.6
- The status of Sites in the Ramsar List of Wetlands of International Importance
- ラムサールリストに載っている湿地の国際的な重要性の現況
- XII.7
- Resource Mobilization and Partnership Framework of the Ramsar Convention
- 資源流動とラムサール条約のパートナーシップ枠組み

RamsarCOP12の決議

- XII.8
- Regional initiatives 2016-2018 in the framework of the Ramsar Convention
- ラムサール条約の枠組みにおける地域区分(2016-2018)
- XII.9
- The Ramsar Convention's Programme on communication, capacity building, education, participation and awareness (CEPA) 2016 - 2024
- ラムサール条約の広報(対話)、能力育成、教育、参加、普及啓発(CEPA)についてのプログラム(2016-2024)

☆この議題において、WWD世界湿地の日の活動の重要性が挙げられている。

包括的目標として「人々が湿地の保全とワイズユースのために行動を起こすこと」を掲げている(環境省まとめ)。

RamsarCOP12の決議

- XII.10
- Wetland City Accreditation of the Ramsar Convention
- **ラムサール条約の湿地都市(自治体)認定**
湿地都市とは、都市部に位置する湿地のこと
- XII.11
- Peatlands, climate change and wise use: Implications for the Ramsar Convention
- 泥炭湿地、気候変動、賢い利用(ワイズユース)：ラムサール条約に含まれる意味→**山門湿原は泥炭湿地！**

RamsarCOP12の決議

- XII.12
- Call to action to ensure and protect the water requirements of wetlands for the present and the future
- 現在および未来の湿地の水分供給を確保し、保護することの注意喚起

- XII.13
- Wetlands and disaster risk reduction
- 湿地と災害リスク減少(防災)

湿地生態系による防災上の役割を認め、湿地を基盤とした防災を国家戦略や関連政策等に組み込むことや、湿地の災害リスクを評価すること等を締約国に奨励するもの(環境省まとめ)。

RamsarCOP12の決議

- XII.14
- Conservation of Mediterranean Basin island wetlands
- 地中海盆地(地域)にある島の湿地の保全
- XII.15
- Evaluation of the management and conservation effectiveness of Ramsar Sites
- ラムサール条約湿地のマネジメントと条約効果の評価

RamsarCOP12の決議

- DR16
- Thanks to the Host Country, Uruguay, and the “Declaration of Punta del Este”
- 開催国ウルグアイと「プンタ・デル・エステ宣言」への感謝

御清聴 ありがとうございました



- 湿地を守っていくために、私も世界湿地の日の活動が続けていこうと思います。